

施策番号	0702		
施策名	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり（「みるスポーツ」）		
概要	国際的・全国的規模の競技大会の開催・振興に向けて，西京極諸施設の競技・観戦環境の充実，マラソン等の総合スポーツイベントの開催，プロスポーツへの支援の促進に取り組む。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関する主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	27年度	28年度	29年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 プロスポーツ・全国規模大会の開催日数(日)	a	a	131	130	103	126.2%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
	a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	27年度	28年度	29年度回答						
			そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	評価
1 プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れる機会がある。	d	d	18 3.9%	77 16.6%	123 26.5%	134 28.8%	113 24.3%	465	d
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
	d	d	市民生活実感調査総合評価				d		

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている				28年度	C
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	a	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感		
(重み付けの理由) 市民がトップレベルのスポーツに身近に触れることを目指す施策であるため、市民の実感を重視する。					27年度	C
(原因分析)客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。						
(原因分析)市民生活実感調査総合評価 <input type="checkbox"/> b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input checked="" type="checkbox"/> c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・京都を本拠地とするプロスポーツチームのリーグ戦等により、京都市内でプロスポーツ等が開催される機会は増加しているが、市民の実感としては、まだ身近に感じている方が少なく、興味のない方へのPR等の広報活動が十分でないと考えられる。						

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	京都スポーツの殿堂	6,317	7,348	良い	文化市民局
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・積極的な広報活動等により、プロスポーツやトップレベルのスポーツに身近に触れていただく機会を提供する。
 ・本市スポーツ施設での大規模大会の更なる利用を促進するために、老朽化した既存設備等の計画的改修に向けた取組を推進していくとともに、魅力ある施設にするための大規模改修も可能な限り実施していく。

施策名	0702	トップレベルのスポーツに身近に触れられているまちづくり（「みるスポーツ」）
-----	------	---------------------------------------

指標名	プロスポーツ・全国規模大会の開催日数（日）
-----	-----------------------

担当課	市民スポーツ振興室	連絡先	366-0168
-----	-----------	-----	----------

1 指標の説明

プロスポーツ及び競技範囲が全国に及ぶ大会の開催延べ日数

2 指標の意味

市民が、プロスポーツをはじめ、トップレベルのスポーツに身近に触れることができていることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	131	130	1日減	103	20年度の数値（76日）と32年度に土日祝日にどこかで何かが開催されている状態（120日）を目標として各年度の目標を等比的（約3.9%増/年）に算出	126.2%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値		120日	32年度	108.3%	32年度に何らかの大会が土日祝日に開催されている状態（120日）を目標とする。

備考	
----	--

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

当該指標については、目標値達成以上をaとし、以下を10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

27	28	29
a	a	a